



すでにそこには石も波も気配もあつて

芝山昌也 個展

2022.4.29 (金) ~7.18 (月)

10:00-18:00 水曜定休 入場無料

ART  GUMMI KANAZAWA

モノに靈魂が宿る、という考え方が日本の奥深くに根付いていることはよく知られています。そう感じるとき、モノと人のあいだに何が起きているのかを想像すると興味は尽きません。その興味のままだに歩いてきた寄り道の軌跡が、いつの頃からか僕の作品に強く影響してきたことは確かです。

どこかで繋がってくると思うので、自分のことから書くことにします。犀川溪谷の奥深くに入り、ある巨大な岩に触れるとき、動物の気配には最大限の注意を払うようになっています。そこが動物にとつての神聖な磐座であるかもしれないからです。(そう確信を持っている岩もあります。)また、江戸時代の石造物を修復するときには、自然と共存してきた当時の技術に感嘆し敬意を払います。同時に残された鑿の痕跡に親近感を覚えたりします。いまここで触れているモノが、遠い自然や見えない他者との距離をぐっぐと縮めてきて、僕の態度に強い影響を及ぼす。それも瞬間的に。そんなときに人はモノには靈魂が宿ると感じるのかもしれない。

真冬の能登の海で夕闇に包まれていく舟を見ていたとき、自然とモノ、自分と他者など、二つのものを分けている線が、なんとも曖昧なものであることを実感しました。僕らは線を引いて分けることに慣れてはいるけれど、この世界はやっぱり、もっと漠然としている。

そして、彫刻をつくること。それはその世界に新しい線を引くことと似ていて、矛盾と困難に満ちています。僕らは「すでにそこに世界は存在しているという矛盾に出遇う」(吉本隆明)という宿題をいつまでも突きつけられてしまう。だからこそ、いま触れられる世界を真剣に受け取ることからは逃げるができないなど、最近はわりと真面目に思っています。



しばやま・まさや 1972年生まれ、彫刻家。金沢美術工芸大学彫刻専攻教員。1991年、金沢美術工芸大学彫刻専攻に入学し、2000年に博士課程を修了。2001年にポラ美術振興財団のプログラムにより渡米し制作活動を行う。2006年に秋田県秋田市に移住してからは山間地域での活動が中心となり、秋田県上小阿仁村や越後妻有アートトリエンナーレなどでプロジェクトを実施。2014年から現在まで金沢市在住。最近の個展に「芝山昌也展——とおい近景——」(2017年、奈義町現代美術館)がある。

金沢アートグミ13周年記念

芝山昌也 個展「すでにそこには石も波も気配もあつて」

日時 2022年4月29日「祝金」〜7月18日「祝月」 10時〜18時 水曜定休 入場無料

主催・会場 認定NPO法人金沢アートグミ

〒920-0907 石川県金沢市青草町88番地北國銀行武蔵ヶ辻支店3階

076-2256-7780 info@artgumi.com

アーティストトーク
7月9日(金) 18時〜(約90分)
ゲスト・石倉敏明

いしくら・としあき 1974年東京都生まれ。人類学者。秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻准教授。シツキム・ダージリン丘陵、カトマンドウ盆地、東北日本等でフィールド調査を行ったあと、環太平洋地域の比較神話学や非人間種のイメージをめぐる芸術人類学的研究を行う。美術作家、音楽家らとの共同制作活動も行ってきた。2019年、『第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際芸術祭』の日本館展示『Cosmo-Eggs 宇宙の卵』に参加。共著に『野生めぐり列島神話をめぐる12の旅』『Eggs 現代人類学』など。

※無料ライブ配信予定。詳細は追ってSNSなどで告知いたします。
※感染状況により、内容が変更となる場合があります。

